

# 地場産業にふれる

県は、地場産業を未来につなげていくため、県民をはじめとする国内外の人に本県の地場産業にふれてもらうきっかけづくりに取り組んでいます。

## 繊維の魅力をPR



高い技術力を誇る「Made in Gunma」の魅力を発信した人にお話を伺いました。



前橋文化服装専門学校  
服装コスチュームコース  
岩田磨耶さん

### 地元の生地のごさを実感

「桐生市で生まれ育ち、市内の高校を卒業後、専門学校で服飾の勉強をしています。

『Fashionable Gunma』のファッションショーでは、桐生の生地を使って自分でデザイン・制作したワンピースを披露しました。

制作に先立ち、生地探しのために桐生の織物会社を訪れました。桐生の繊維産業という着物イメージでしたが、洋服の生地も作っていること、その生地が大手服飾ブランドで使われていることを知り驚きました。

この春に服飾関係の会社に就職します。最初は販売員をしますが、将来は服作りに携わり、いつか桐生の生地を使ってみたいです」



制作前に描いたスケッチ

自らモデルとなり  
ファッションショーに出演



本県出身のアイドル(和田彩花さん、新井愛瞳さん)と共にトークショーに出演



展示・販売コーナーで  
製品にふれる来場者

### 繊維産業を盛り上げたい

「県内の繊維産業を紹介するイベントを、県との共催で開催しました。県内全域の繊維組合が一堂に会してPRするのは初めてです。

トークショーでは、和装で培われた本県繊維産業の技術が洋装にも使われていることを、来場者に知ってもらうことができました。またファッションショーや展示・販売を通して、高い技術力やデザイン性をアピールできたと思います。

良い製品を作るだけでなく、それを広く知ってもらうことが大切です。このイベントをきっかけに、本県の繊維産業をさらに盛り上げたいです」



県繊維連合会  
会長 牛腸 草さん

### 「群馬の地酒」の魅力を発信

#### 動画でファンを獲得

本県の地酒は、近年、全国新酒鑑評会で高い評価を受けるなど、その味わい深さや質の高さに定評があります。

県では「群馬の地酒」の魅力を国内外に発信し、ブランド力の向上やファンの獲得につなげるため、プロモーション動画を制作しています。昨年11月から県内の蔵元などで撮影を行って、今月末に完成する予定です。



酒造り(米蒸し)の撮影風景

またプロモーション動画の他、県内にある蔵元や地酒の銘柄などを紹介するホームページを併せて公開する予定です。

### 伝統工芸と県産シルクを生かした商品開発

#### オリジナル商品が間もなく完成

県では県産シルクの魅力をPRするため、県内の伝統工芸と融合させた新しい商品を開発するプロジェクトを進めています。県と一緒に商品開発に取り組んでいる、小学館の高木編集長にお話を伺いました。



小学館「和楽」編集長 高木史郎さん

「ぐんまちゃん」のオリジナル商品は、3月発行の『和楽』で制作過程を紹介し、販売します。これまでにな



い商品だと自負していますので、ご期待ください」

「『和楽』は、読者に日本の文化や美術への新しい入り口を提案する雑誌です。また誌面と連動して伝統工芸とコラボレーションしたオリジナル商品を開発・販売していることも特徴です。この特徴を生かして、群馬の伝統工芸とシルクに群馬県のマスコット『ぐんまちゃん』を組み合わせた商品を提案しました。伝統工芸の良さは、歴史があることではなく、現代の製品と比べても遜色ない技術やアイデア、コンセプトを持っていることだと考えています。それによって付加価値を加え、どう伝えるか、それにより存在感が増すのではないのでしょうか。」

#### 伝統工芸の良さを再考

「『和楽』は、読者に日本の文化や美術への新しい入り口を提案する雑誌です。また誌面と連動して伝統工芸とコラボレーションしたオリジナル商品を開発・販売していることも特徴です。この特徴を生かして、群馬の伝統工芸とシルクに群馬県のマスコット『ぐんまちゃん』を組み合わせた商品を提案しました。伝統工芸の良さは、歴史があることではなく、現代の製品と比べても遜色ない技術やアイデア、コンセプトを持っていることだと考えています。それによって付加価値を加え、どう伝えるか、それにより存在感が増すのではないのでしょうか。」